



総合物流施策大綱 有識者委員会報告

平成29年3月31日

資料5

花王(株)

SCM部門ロジスティクスセンター 新田 秀一

花王の概要



2016年12月31日現在

商号 花王株式会社(Kao Corporation)

本店所在地東京都中央区日本橋茅場町1丁目14番10号

創業 1887年6月(明治20年)

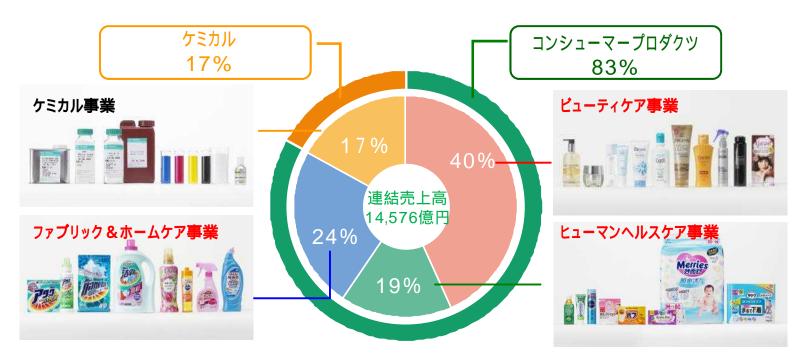
設立 1940年5月(昭和15年)

売上高 1兆4,576億円(連結)

資本金 854億円

従業員数 7,195名(連結対象会社合計 33,195名)

生産拠点 国内10、海外28



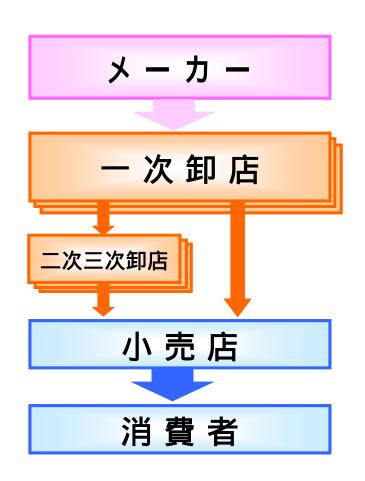


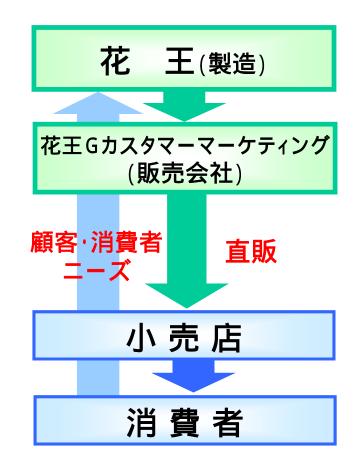
花王のサプライチェーンの特徴



一般的な流通チャネル

花王の流通チャネル (国内の家庭品)







花王グループ物流拠点(2017年3月現在)

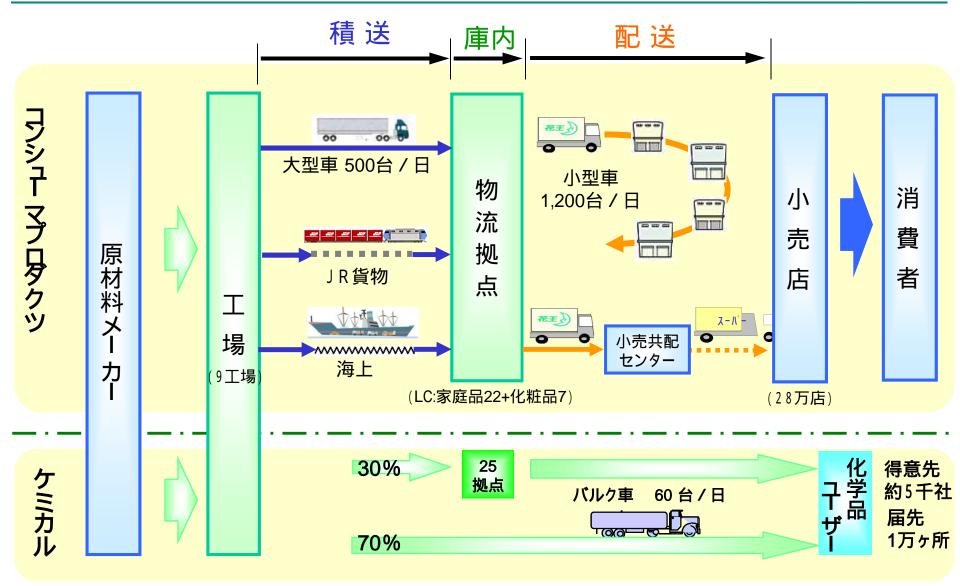


		All Rights Reserved, Copyright © Kao Corp
1	拠点数	
家庭品 L C ターミナル ○	2 2	青森 秋田
化粧品 ①	7	石狩
合計 (同居拠点除() L C : ロジスティクス・	56(54) センター。	新潟 仙台 仙台南(化粧品)
		金 富山 伊勢崎 宇都宮 茨城 佐野 岩槻第3 世
S	_ /	神戸(化粧品)大津 日進 東西 沿南 アナイル 日本 と 日本
٥	北九州	安古屋西(化粧品) 名古屋西(化粧品)
長崎	大分	松山



花王のロジスティクス活動の範囲

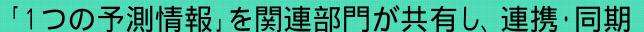


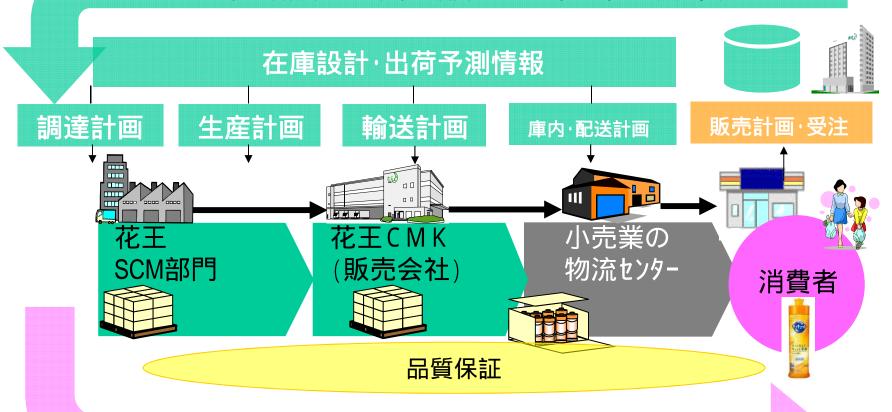




花王のSCM組織運営





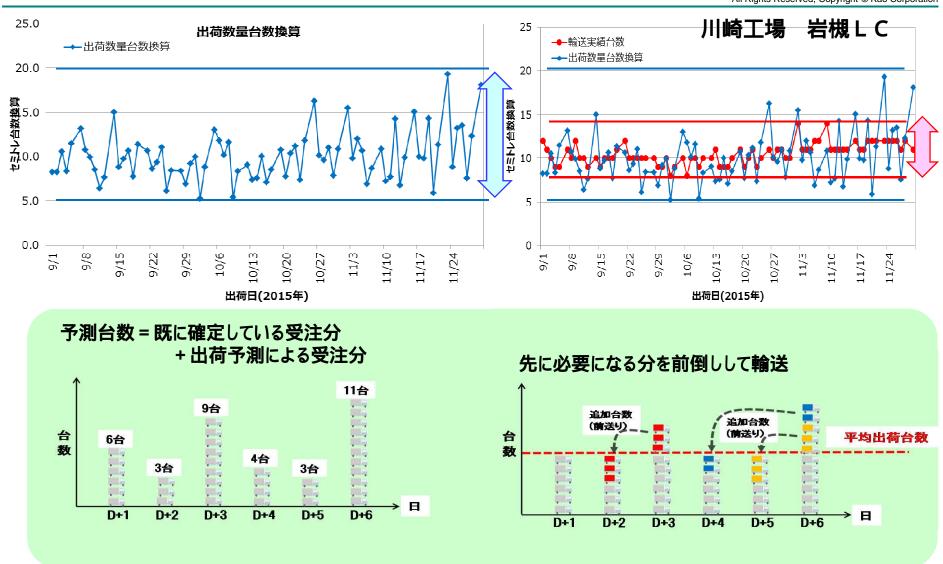


「一気通貫の効率的なサプライチェーン」を構築、運営

「全系モニタリング」(見える化)で継続的に改善



輸送効率化の活動例 前倒し輸送による輸送の平準化 べつ



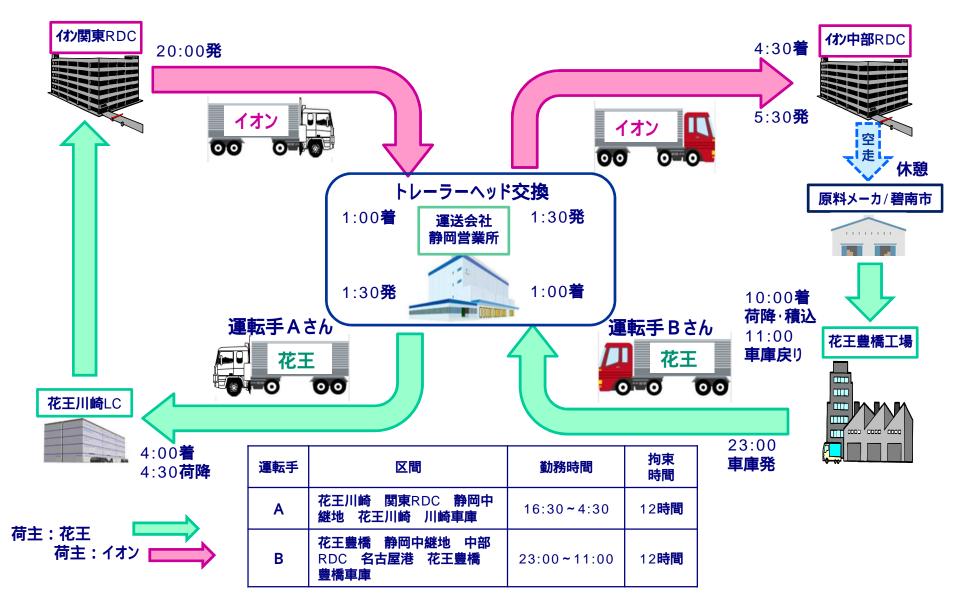
輸送効率化の活動例 イオン様との共同取組み ~ トレーラチェンジ方式 ~ All Rights Reserved, Copyright © Kao Corporation



効率化による物流コスト削減を実現するために

2016.6.7より実運営

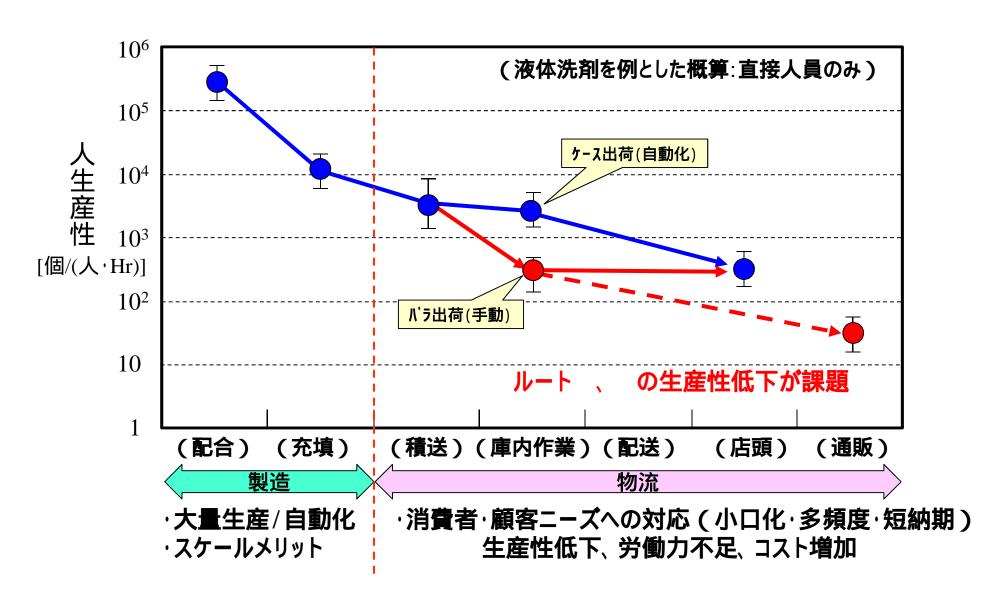
空移動の少ないルート設定・・・「関東 中部」 間の基幹輸送に加え、調達、配送の結合輸送を実現





サプライチェーンにおける人生産性





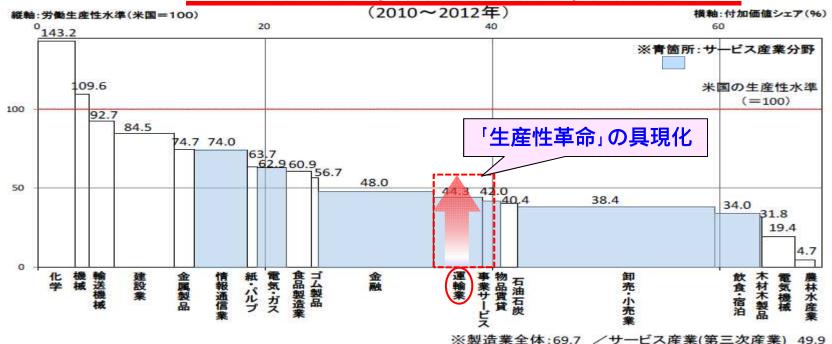


日本の産業別労働生産性(米国との比較)



All Rights Reserved, Copyright © Kao Corporation

日米の産業別生産性(1時間あたり付加価値)と付加価値シェア



出典:滝澤美帆「日米労働生産性水準比較2016年度版」、公益法人日本生産性本部

- 産業別にみた日本の労働生産性(就業1時間当たり付加価値額 / 2010 ~ 2012年平均)は、 製造業で米国の7割(69.7%)、サービス産業(第三次産業)で5割(49.9%)。
- 運輸(44.3%)や卸売·小売業(38.4%)、飲食宿泊(34.0%)等で格差が大きい。
- 国交省生産性革命プロジェクト提言(2016.5.23)

「物流事業の労働生産性を2020年までに2割程度向上させる」

各分野(輸送、物流庫内、配送・配達、海外展開等)毎のロードマップ策定と着実な実行) 例) 2020年:1.2倍、2025年:1.5倍(2016年比)



課題と要望



機能要素	課題	活動 / 対応	要 望
輸配送	ドライバー不足 長時間勤務 (待機時間) 小口納品化多頻度 物流安全確保 環境負荷低減	結合輸送/中継輸送 共同輸送 モーダルシフト 荷姿ユニット化(まとめ発注) 動態管理システム導入	空車情報の 可視化、共有 鉄道、港湾の インフラ整備
保管	保管スペース確保 倉庫の大型化集約化 倉庫建設 (用地規制) "(建築許可長期化)	賃借倉庫の確保 用地の探索	道路 / 用地整備 優遇措置
荷役	作業員不足 バラ出荷増加 短納期(当日納品増加) 小口納品化多頻度	自動ピッキング 女性、シニア活用	技術開発支援 (ロボット、 自動搬送、 パワースーツ)
情報管理 (含トレーサビリティ)	ASNの活用 (積荷情報の受け渡し) 品質保証	物流資材のスマート化 庫内-車両との情報連携	標準化 コンソーシアム 車載機器の 一元化
危機管理	リスクマネジメント BCP	企業連携による被災地救援 非被災地域への製品供給	支援アイテム・ 数量の決定ス キーム

ご静聴、ありがとうございました



自然と調和する こころ豊かな毎日をめざして